

岩日タイムズ

発行者
岩瀬日本大学
高等学校
ソーシャルメディア部
河田 怜子

岩日に愛された40年

「パンを買ってくれてありがとうございました」

購買のパン屋さん販売終了

7月29日、1階生徒ホールで、購買のパン屋さんを惜しまれながら閉店した。閉店セレモニーでは、生徒会から花束と色紙の贈呈が行われた。購買のパン屋さんは土田製菓といい、石岡市柿岡で営業している。土田製菓は創業100年を超える老舗



贈られた花束と色紙を手に土田さん（左）と木村さん

の製菓店だ。ケーキ・和菓子・無添加パンなどの製造・販売を手がけている。冠婚葬祭なども予算に応じて予約を受付けているそうだ。また給食パンを卸したり、本校以外の高校の購買で販売したりしている。後日、ソーシャルメディア部前部長の田沼季絵さんが、石岡市の土田製菓を訪ねたところ、突然の訪問に驚きつつも取材にに応じてくれた。学校では焼きそばパンや、唐揚げパンなどの惣菜パンが人気だ。一方、店舗では甘い菓子パンの売り上げが多いため、それぞれバランス良



購買最終日の売御礼

く生徒の需要にあった商品に届けてくれたのだ。土田製菓のパンの人気は生徒にとどまらず、多くの先生からも愛されてきた。そこで購買について詳しい先生たちにエピソードを聞いた。木川先生は、あんなのチーズが好きなパンのチーズが好きなだった。「この2つのパンで自分の身体ができてい」と言うほどだ。購買が閉店してからは禁断症状が出ているらしいので、先生には是非



土田製菓さんを訪問しました

ら買って代わりに行きたかった。教員になっても、生徒から「カステラパンが美味しい」という話を聞いて、初めて食べたという。カステラパンは一

本店に行ってみてほしい。最後に一言、「叶うことならもう一度復活してほしい」と熱く語ってくれた。大塚先生も「パンが手作りなので美味しい」と話してくれた。特にあんぱんやスイートパンが好きだったという。その他にも、生クリームいっぱいコーヒゼリーや、「ペコちゃんほっぺ」が売っていたことも話してくれた。青木先生は在学中、4限目終了のチャイムが鳴ったら購買まで走っていたそうだ。「チキン」と呼ばれたパーガーが人気で、部活の先輩にお金をもらって代わりに行きたかった。教員になっても、生徒から「カステラパンが美味しい」という話を聞いて、初めて食べたという。カステラパンは一

編集後記

日に2〜3個しか販売していないため、隠れた人気商品だったという。

土田製菓は、これまで40年近く購買でパンや飲み物などを販売してきた。岩日の伝統を共に歩み、支えてくれた購買の閉店は、多くの生徒や卒業生、先生に衝撃を与えた。私も「いつか行ってみたい」と思っている間に閉店のお知らせを聞き、とても残念だった。取材で店員さんや先生に話を聞いていたのと改めて愛されていたのだということが伝わってきた。店員の木村さんがセレモニーの最後に「長い間パンを買ってくれてありがとうございました」と話してくれた。岩日に長い間美味しいパンを届けてくれたことに感謝し、木川先生が話してくれたように、いつの日か購買が復活することを強く願う。(河田)